

さいたま助産院記念講演

「いのちの大切さ～生まれてきてくれてありがとう」開催しました

平成25年7月28日（日）にさいたま助産院記念講演「いのちの大切さ～生まれてきてくれてありがとう」を行いました。この講演会は、出張開業して16年、施設を構え11年を迎えたさいたま助産院が、日頃より地域の皆様に愛され、活用していただけていることに感謝し開催致しました。

当日会場には、乳幼児を連れてきたパパ・ママ、小学生・中学生になったお子様と一緒に足を運んで下さった懐かしい方々、横浜から家族で来て下さった方もいました。

【科学者になったつもりで】

その皆様に向けて、院長の山田美津枝助産師より、「今日は科学者になったつもりで、一緒に“いのち”のこと、“いのち”の誕生について考えていきましょう」の呼びかけ。そこから、男女の体の違いやどうやって卵子と精子が会えるのか、絵本を使って説明。子どもたちは真剣な目で話を聞いていました。

【赤ちゃんって重たい!!】

その後は、3カ月～10カ月までの胎児ちゃん人形の大きさや重さを子どもたちが実際に持って見ました。8カ月・10カ月の胎児ちゃんを持った子から「重たい!!」の声。続いて、実際にどのような動きで生まれてくるのかこちらも胎児ちゃん人形を使って実践。



そしてこの日は、8月7日予定日の山下さんに来ていただいてお腹の赤ちゃんの心音と、小学校5年生の平野聡志くんの心音を聞かせてもらいました。

【参加者の感想】

- ・“いのちができるまで”なかなか学べる機会はないので貴重な時間となりました。家族で今日の時間について、いのちについて、改めて話題としてきくと話ができます。
- ・最近、9才の娘が学校の保健の特別授業で赤ちゃんがどのようにして生まれてくるのか、保健の先生から教わったと言っていました。性教育について母親である私が積

極的に関わりたいと思っていたところでしたので、今日の講演は娘と話すとてもよい機会、きっかけになったと思います。

- ・精子が争うのではなく、協力し合っていることが初めて分かりました。
- ・子どもが生まれた時のことを思い出し、懐かしくなりました。叱ってばかりの子どもたち。今日はギュッと抱きしめてあげようと思いました。



「素敵な大人になるために にぶんのいち成人式」

講演会終了後、行いました「にぶんのいち成人式」。

10歳を超えたお子さんとそのご家族にご参加いただきました。

さいたま助産院からは、それぞれのお子様へ10年を迎え、その成長をご家族ともにさいたま助産院としてもかけがえのない希望であること。そして、これからも健やかな成長を応援していることを願っている言葉を添えた賞状をお渡ししました。

そして、お母様たちから、お子様に今の気持ちや生まれた時のことをお伝えしていただき、お子様たちからもそれを受けて、言葉や表情でそれぞれの気持ちを返していただきました。

(文責：小林知子)